

# 平成29年度 保育所の自己評価

## みらいつぼみ保育園

平成29年度は、2歳児は卒園後を見据えて集団保育を経験することも意識した保育計画のもと、連携園の2歳児クラスとの交流の機会を多く作るようにしました。特に、3月の2週間は一日のうちのほとんどの時間を連携園で過ごす計画で、連携園の担当保育士と密に連携をとり、進級がスムーズにできるよう配慮しました。

みらいつぼみ保育園での少人数の家庭的な保育の場で、年少の子どもたちは年長の子どもたちをモデルとして成長していったと思います。

職員たちは、連携園の会議・研修・行事等のすべてを一緒に行い、情報を共有して保育にあたりました。

30年度に向けて、0歳児から2歳児までの3年間の保育を同室で保育を行うことのメリットと障害を考えた結果、定員構成を変更（1歳児と2歳児のみの保育）することとしました。

### 《保育所自己評価表による、評価結果》

※保育士全員による横浜市公立保育所の自己評価表での評価結果

※A：おおむね達成できている

B：具体的に実施しているが成果が出ていないか、一部実施できていない

C：具体的に実施できていないか、一部しか実施していない

#### 1.保育理念

I-1 子どもの最善の利益の考慮

- |                                  |        |
|----------------------------------|--------|
| ① 子どもの人権尊重                       | A      |
| ② 保育方針・保育目標                      | おおむね A |
| ③ II-1 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場 |        |
| ① 健康安全で心地よい生活                    | A      |
| ② 子どもの主体的な生活                     | おおむね A |
| ③ 人との関わりを育む環境                    | おおむね A |



③ 保育所の自己評価	A
④ 研修体制が整備	おおむね A
⑤ 計画的な人材育成	B
IV-3 運営・管理、社会的責任	
① 関連法令を遵守している	A
② 苦情解決制度が機能している	A
③ 個人情報の取り扱い	A
④ 施設長の役割と責任	A

平成 30 年 6 月